

科目名		開講時期	開講学年	⑧/ 選	2 単位 (30h)
精神看護学実習		通年	3		
担当教員名	電子メール	オフィスアワー			
※平山裕子・辻脇邦彦・齋藤文代	yuko.hirayama@tohto.ac.jp	月曜日～金曜日(連絡後)			
授業の概要					
精神看護学実習は、精神障がい者の回復（リカバリー）を支援する精神保健医療福祉を理解し、精神障がい者が地域で暮らすために多職種連携を踏まえた看護の役割を知り、臨床判断能力の理解を高める。 また、精神障がい者とのかかわりを通して、理論モデルを活用し、対象者理解を深めるとともに、精神看護を実践するための自己理解につなげる。					
キーワード	到達目標				
精神障がい者 リカバリー アドボケイト ストレングスモデル 地域で暮らす 就労継続支援事業所 精神科デイケア 精神科訪問看護 自己理解・他者理解 多職種連携	1. 精神科医療における法律に基づいた運用の実際を理解し、精神障がい者の病院内の療養環境について、自己の考えを述べるができる。 2. 精神科医療・看護の実際を理解し、精神障がい者の人権を擁護するために看護師としてのアドボケイトに対する自己の考えを述べるができる。 3. 精神障がい者とのかかわりを通して、理論モデルを活用し、対象者理解を深めることにより、自己のコミュニケーションを振り返ることができる。 4. 精神障がい者の回復（リカバリー）を支援する精神保健医療福祉の観点から、対象者のストレングスに即した支援を考え述べるができる。 5. 精神障がい者が地域で暮らすことの実状を知り、対象者がその人らしく生きるための支援について、自己の考えを述べるができる。 6. 精神障がい者が施設で受けている支援を理解し、対象者が施設に通う意味について、自己の考えを述べるができる。 7. 精神障がい者が地域で暮らすための支援と多職種連携と看護師の役割について、自己の考えを述べるができる。 8. 精神障がい者が地域で暮らすための支援の臨床判断の実際を知ることにより、看護実践に必要な能力について、自己の考えを述べるができる。 9. 精神障がい者とのかかわり、課題、カンファレンスを通して、精神看護を実践するための自己理解を深め自身について述べることができる。 10. 精神障がい者を取り巻く精神保健医療福祉の実際と対象者を通じての多職種連携を踏まえた支援に対する実習地での学びからの自己の考えを、発表することができる。				

授業の計画・形式					
第 1 週	1, 地域で暮らす精神障がい者 1 名との面談を通して、看護展開をおこなう。 2, マッピングシート, レポートの作成を通して、対象者の援助・支援を考える。 3, 各施設でおこなわれているプログラム等に参加し, 精神保健医療福祉の実際について理解を深める。 4, プロセスレコードを作成し, 自己理解を深める。				
第 2 週	1, 地域で暮らす精神障がい者 1 名との面談を通して、看護展開をおこなう。 2, マッピングシート, レポートの作成を通して、対象者の援助・支援を考える。 3, 各施設でおこなわれているプログラム等に参加し, 精神保健医療福祉の実際について理解を深める。 4, プロセスレコードを作成し, 自己理解を深める。 5, 最重日に精神保健医療福祉の現状, 自己の修得課題について, PowerPoint を用い発表をおこなう。				
第 3 週	なし				
教科書、参考書					
教科書	『系統看護学講座』専門分野 精神看護の基礎 精神看護学 1 医学書院 『系統看護学講座』専門分野 精神看護の展開 精神看護学 2 医学書院 萱間真美著：リカバリー・退院支援のための ストレングスモデル実践活用術 医学書院 2016 萱間真美著：ストレングスからみた精神看護過程：全体関連図、ストレングス・マッピングシート 2021				
参考書	なし				
先修要件					
精神看護学概論, 精神看護学援助論の単位を取得見込みであること。					
成績評価					
本試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・演習）	その他	合計
100%	%	%	%	%	100%
担当教員からのメッセージ					
各自で、精神医学、精神看護学概論、精神看護学援助論の教科書、レジュメより、知識を確認してから実習に臨んで下さい。こころと身体の調子を整え充実した実習にしましょう。					